

消 防 年 報

平 成 1 9 年 版



富 津 市 消 防 本 部

目 次

消防の沿革	1
管内の面積及び人口・世帯数	7
＜組織・人事・消防施設及び車両等＞	
消防の組織・機構	9
消防本部・消防署の事務分掌	10
消防庁舎の現況	12
職員の年齢及び勤続年数	13
職員の配置状況	14
消防予算及び決算	14
消防相互応援協定等の状況	14
消防力の現勢	15
消防車両等の配置状況	16
消防車両等の台数	17
消防通信系統図	18
消防分布図	19
消防水利の状況	20
＜火災・救急・救助＞	
火災発生状況	21
覚知別火災件数	22
月別火災状況	22
年別火災状況	23
時刻別火災発生状況	23
地区別火災発生状況	23
火災原因別件数	23
事故種別救急出動件数	24
救急隊別出動件数	25
傷病程度別搬送人員	25
年齢区分別搬送人員	26
搬送人員の居住地別	26
救急隊員の行った応急処置件数	27
年別救急隊出動件数	27
特別救助隊編成表	28

救助隊員の免許取得状況	28
救助器具の保有状況	28
月別救助出動件数	29
年別救助出動件数	29

＜ 予 防 ・ 査 察 ＞

建築同意状況（月別）	31
建築同意状況（用途別）	31
防火対象物状況	32
中高層防火対象物状況	33
防火対象物の立入検査状況	34
甲種防火管理者資格付与の状況	35
防火管理者選任・解任届出状況	35
消防用設備等新規設置状況	35
火災予防条例に基づく届出状況	36
危険物製造所等完成検査済証交付件数	36
数量別危険物製造所等	37
類別危険物製造所等	37
危険物製造所等の分布状況	38
消防クラブの現況	39

＜ 消 防 団 ＞

消防団員数及び配置状況	41
階級別年齢構成状況	42
消防団員職業別状況	42
消防団車両等の配置状況	43
消防団車両等の台数	44

消 防 の 沿 革

- 昭和46年 4月25日 ・富津町、大佐和町、天羽町の合併により富津町となる。
5月29日 ・富津町消防団結団式挙行、旧富津町消防団313名、旧大佐和町消防団297名、旧天羽町消防団558名、計1,168名を第1支団12個分団、第2支団8個分団、第3支団17個分団にて新編成
・初代消防団長に田中重一氏就任
9月 1日 ・富津町を富津市とする。
・市政施行に伴い、富津市消防団に改称
・消防本部、消防署設置準備室設置
12月 1日 ・消防職員第1期生として7名を採用
- 昭和47年 1月 1日 ・職員1名を採用、消防本部、消防署設置準備室長に青木一郎氏を任命
2月 1日 ・職員2名を採用
4月 1日 ・富津市小久保2958番地1、大佐和支所内に消防本部、消防署を設置
・佐久間清市長を初代消防長事務取扱に任命
・職員定数を71名とし17名を採用、予防業務を開始
6月15日 ・(財)日本消防協会より広報車寄贈、本部に配備
6月16日 ・指揮統制車購入、消防署に配備
7月10日 ・富津ライオンズクラブから救急車購入費用の一部寄附を受け救急車購入、署に配備
7月11日 ・救急業務開始
8月31日 ・消防署の車庫新築
9月 1日 ・ポンプ車購入、署に配備
・消火業務を開始のため交替制勤務実施
・職員4名を採用
10月 2日 ・水槽付ポンプ車購入、署に配備
- 昭和48年 4月 1日 ・2代消防団長に増田武雄氏就任
・消防本部、消防団、消防庁長官竿頭綬受賞
・職員11名を採用
6月26日 ・千葉県農業共済協同組合連合会から救急車寄贈、2台に増強、署に配備
- 昭和49年 4月 5日 ・査察原調車購入、本部に配備
4月24日 ・千葉県消防設備保守協会から広報車寄贈、本部に配備
7月 1日 ・職員1名を採用
7月21日 ・新庁舎完成に伴い、富津市小久保2109番地に移転し業務開始
12月 1日 ・職員2名を採用
- 昭和50年 4月 1日 ・消防団第2支団(8個分団)の1個分団定員36名を25名に削減し、消防団員定数1,074名となる。
・職員9名を採用
・救助隊発足(隊長以下12名、兼任)、火災、水難、交通事故等の救助に備える。
5月13日 ・初代消防長事務取扱佐久間清氏勇退
5月14日 ・2代消防長事務取扱に白井長治氏就任
8月 5日 ・第11回千葉県消防操法大会において、第3支団第2分団がポンプ車の部で第6位に入賞
- 昭和51年 2月28日 ・ポンプ車購入、署に配備

- 3月31日 ・消防訓練場造成工事、消防庁舎敷地内舗装工事、消防署機材倉庫建設工事竣工
 - ・市役所職員により編成されていた富津市消防隊廃止
- 8月 1日 ・消防本部の機構改革により、消防団係2名を配置
- 10月15日 ・人員輸送車購入、署に配備
- 11月 1日 ・消防署音楽バンド編成(6名編成)
- 昭和52年 4月 1日 ・3代消防団長に池上利雄氏就任
 - ・職員6名を採用
- 6月 3日 ・マイクロバスを本部に配備
- 7月 1日 ・4代消防団長に嶋田政市氏就任
- 9月 1日 ・(財)日本船舶振興会から救急車寄贈、3台に増強、署に配備
- 昭和53年 4月 1日 ・消防本部の機構改革により、総務課を設置
 - ・職員定数を75名とし、職員9名を採用
- 7月25日 ・第14回千葉県消防操法大会において、第3支団第1分団がポンプ車の部で第3位に入賞
- 9月 1日 ・富津市湊296番地2、天羽出張所改修工事竣工、ポンプ車1台、救急車1台、可搬積載車1台を配備し、所長以下8名にて業務開始
- 12月 5日 ・木更津信用金庫から、消防車の購入一部負担金の寄附を受け、小型動力ポンプ付水槽車を購入、本署に配備
- 昭和54年 4月 1日 ・5代消防団長に丸松夫氏就任
 - ・職員6名を採用
 - ・消防団員定数を改正し1,039名となる。
- 7月31日 ・第15回千葉県消防操法大会において、第1支団第10分団がポンプ車の部で準優勝
- 昭和55年 3月 3日 ・救急車購入、本署に配備
- 3月29日 ・ポンプ車購入、本署に配備
- 4月 1日 ・消防本部の機構改革により予防課を設置、2課となる。
 - ・職員定数を90名とし、職員7名を採用
- 昭和56年 1月31日 ・(社)日本損害保険協会よりポンプ車寄贈、天羽出張所に配備
- 4月 1日 ・6代消防団長に尾高賢次氏就任
 - ・消防団員定数を改正し961名となる。
 - ・職員8名を採用
- 12月 3日 ・水槽付ポンプ車購入、本署に配備
- 12月10日 ・富津出張所建設工事着工
 - ・救急車購入、天羽出張所に配備
- 昭和57年 4月 1日 ・3代消防長に鈴木龍雄氏就任
- 4月28日 ・富津出張所建設工事竣工、水槽付ポンプ車1台を配備し、所長以下12名にて業務開始
- 昭和58年 3月25日 ・天羽出張所改築工事竣工
- 4月 1日 ・消防団員定数を改正し776名となる。
 - ・職員定数を96名とし、職員7名を採用
- 9月 1日 ・富津出張所に救急車1台を配備
- 10月 1日 ・市役所の機構改革により予防課が総務課予防係となる。
- 10月 7日 ・第19回千葉県消防操法大会において、第3支団第14分団が小型ポンプの部で優勝

- 12月28日 ・水槽付ポンプ車購入、本署に配備
- 昭和59年 4月 1日 ・4代消防長に高梨博氏就任
- 7月10日 ・消防長司令車購入、総務課に配備
- 7月24日 ・第20回千葉県消防操法大会において、第3支団第16分団が小型ポンプの部で優勝
- 昭和60年 3月 6日 ・消防本部、消防団、消防庁長官表彰旗受賞
- 3月15日 ・広報車購入、本部に配備
- 4月 1日 ・職員定数を99名とし、職員5名を採用
- 7月26日 ・第21回千葉県消防操法大会において、第3支団第24分団がポンプ車の部で第4位に入賞
- 9月27日 ・(財)日本消防協会より広報車寄贈、本署に配備
- 12月24日 ・指揮統制車購入、本署に配備
- 昭和61年 4月 1日 ・5代消防長に石井武氏就任
- 職員定数を116名とし、職員8名を採用
- 7月24日 ・第22回千葉県消防操法大会において、第3支団第34分団が小型ポンプの部で第6位に入賞
- 10月 1日 ・職員5名を採用
- 12月22日 ・ポンプ車購入、天羽出張所に配備
- 昭和62年 1月 8日 ・救助工作車購入、本署に配備
- 3月 9日 ・小型動力ポンプ付積載車購入、第3支団第36分団に配備
- 3月30日 ・救急車購入、天羽出張所に配備
- 7月23日 ・第23回千葉県消防操法大会において、第3支団第34分団が小型ポンプの部で優勝、第3支団第24分団がポンプ車の部で準優勝
- 昭和63年 2月23日 ・救急車購入、本署に配備
- 4月 1日 ・消防本部の機構改革により予防課を設置、2課となる。
- 6代消防長に青木一郎氏就任
- 7月20日 ・第24回千葉県消防操法大会において、第3支団第22分団がポンプ車の部で準優勝
- 11月16日 ・ポンプ車購入、第1支団第7分団、第3支団第31分団に配備
- 平成元年 2月23日 ・ポンプ車購入、第1支団第4分団に配備
- 3月17日 ・小型動力ポンプ付積載車購入、第3支団第35分団に配備
- 4月 1日 ・7代消防長に平野一郎氏就任
- 職員5名を採用
- 11月17日 ・消防団、水防功労者建設大臣表彰受賞
- 12月22日 ・化学車購入、本署に配備
- ポンプ車購入、第3支団第27分団に配備
- 平成2年 2月 2日 ・消防団、日本消防協会より優良消防団表彰(竿頭綬)受賞
- 3月 3日 ・ポンプ車購入、第1支団第2分団に配備
- 3月29日 ・救急車購入、富津出張所に配備
- 5月 1日 ・職員1名を採用
- 12月 6日 ・小型動力ポンプ積載車購入、第1支団第12分団に配備
- 12月20日 ・ポンプ車購入、第1支団第9分団、第2支団13分団に配備
- 平成3年 7月23日 ・第27回千葉県消防操法大会において、第3支団第33分団がポンプ車の部で準優勝、第3支団第25分団が優良賞

- 12月 3日 ・ポンプ車購入、第1支団第6分団に配備
 ・小型動力ポンプ積載車購入、第1支団第10分団・第11分団に配備
- 平成4年 4月 1日 ・8代消防長に酒井清光氏就任
 7月28日 ・第28回千葉県消防操法大会において、第2支団第16分団がポンプ車の部
 で第4位、第3支団第34分団が小型ポンプの部で第9位となりそれぞれ努力
 賞
 7月31日 ・小型動力ポンプ積載車購入、第1支団第8分団に配備
- 平成5年 4月 1日 ・7代消防団長に藤野一夫氏就任
 ・職員3名を採用
 5月18日 ・事務連絡車を購入、総務課に配備
 7月27日 ・第29回千葉県消防操法大会において、第3支団第25分団が小型ポンプの
 部で最優秀賞、第2支団第16分団がポンプ車の部で第9位となり努力賞
 8月 5日 ・(社)日本損害保険協会より水槽付ポンプ車寄贈、富津出張所に配備
 9月 6日 ・(財)日本消防協会より広報車寄贈、予防課に配備
- 平成6年 2月10日 ・ポンプ車購入、第2支団第14分団に配備
 4月 1日 ・9代消防長に前田衛氏就任
 ・職員1名を採用
 7月26日 ・第30回千葉県消防操法大会において、第3支団第24分団がポンプ車の部
 で優良賞、第3支団第36分団が小型ポンプの部で最優秀賞
 10月13日 ・第14回全国消防操法大会に、第3支団第36分団が小型ポンプの部で初
 出場
- 平成7年 1月27日 ・ポンプ車購入、第3支団第33分団に配備
 4月 1日 ・10代消防長に牧野勝汎氏就任
 11月29日 ・小型動力ポンプ付積載車購入、第3支団第34分団に配備
- 平成8年 3月28日 ・平成9年4月の消防緊急通信指令施設導入に併せて、消防本部(通信指令
 室)増築工事竣工
 7月23日 ・第32回千葉県消防操法大会において、第3支団第36分団が小型ポンプの
 部で優良賞
- 平成9年 4月 1日 ・11代消防長に平野正明氏就任
 ・職員3名を採用
 ・消防団組織を支団制から分団部制に移行
 ・コンピュータ制御による消防緊急通信指令施設(I型)を整備し複雑多様化
 する災害に対し、迅速かつ的確な対応が可能となる。
 ・指令施設の整備に併せ、消防署通信係を総務課指令係とし、9名による業
 務を開始
 10月 1日 ・総務課指令係を3名増員し、12名となる。
 12月25日 ・天羽出張所に救急車(2B型)を配備
- 平成10年 4月 1日 ・職員1名を採用
 7月22日 ・第34回千葉県消防操法大会において、第11分団第2部がポンプ自動車の
 部で努力賞、第8分団第1部が小型ポンプの部で優秀賞
 12月11日 ・本署に高規格救急自動車を配備
- 平成11年 1月 4日 ・高規格救急自動車の運用を開始
 3月 4日 ・一般国道127号富津館山道路部分開通(平成11年3月27日)に伴い、富津
 金谷IC～鋸南保田ICの消防活動について、安房郡市広域市町村圏事務組
 合消防本部と確認書を取り交わす。

- 4月 1日 ・12代消防長に荒井三郎氏就任
 - ・8代消防団長に刈込新一氏就任
 - ・消防団第11分団第3部と第4部が統合により、36個部となる。
 - ・消防団員定数を改正し740名となる。
- 11月15日 ・2台目の高規格救急車を富津出張所に配備
- 11月24日 ・本署の小型動力ポンプ付水槽車及び富津出張所の消防ポンプ自動車(CD-I)を更新
- 12月16日 ・小型動力ポンプ付積載車4台を購入、第3分団第1部、第5分団第2部、第7分団第4部及び第11分団第1部の車両を更新
- 12月27日 ・天羽出張所の水槽付ポンプ自動車(I-A)を更新
- 平成12年 4月 1日 ・職員を1名採用
- 平成13年 4月 1日 ・消防団12個分団36個部から12個分団26個部へ、団員定数を740人から679人へ再編
 - 8月29日 ・広報車1台購入、本署へ配備
 - 11月23日 ・小型動力ポンプ付積載車4台を購入、第2分団第1部、第6分団第2部及び第3部、第8分団第1部に配備
- 平成14年 1月18日 ・本署の水槽付ポンプ車(I-A)を更新
- 2月14日 ・天羽出張所のポンプ自動車(CD-I)を更新
- 4月 1日 ・13代消防長に柴崎光男氏就任
- 10月 1日 ・9代消防団長に大草三貴雄氏就任
- 平成15年 3月20日 ・3台目の高規格救急車を天羽出張所に配備
- 4月 1日 ・14代消防長に佐藤一氏就任
 - ・消防団12個分団26個部から12個分団16個部へ、団員定数679人から578人へ再編
 - ・職員2名を採用
- 12月 9日 ・救助工作車を更新
- 12月24日 ・小型動力ポンプ付積載車3台を購入、第1分団第1部、第9分団第1部及び第10分団第1部に配備
- 平成16年 3月15日 ・本署の指揮統制車を更新
- 4月 1日 ・職員3名を採用
- 5月28日 ・小型動力ポンプ1台を購入、第4分団第1部に配備
- 平成17年 4月 1日 ・職員4名を採用
 - ・消防団員定数578人から552人へ再編
 - 12月 9日 ・小型動力ポンプ1台を購入、第7分団第2部に配備
- 平成18年 3月 6日 ・小型動力ポンプ付積載車1台を購入、第8分団第1部に配備
- 7月 3日 ・広報車1台(広報2号車)購入、予防課へ配備
- 8月24日 ・緊急消防援助隊資器材(エアータント)購入
- 10月18日 ・小型動力ポンプ1台を購入、第10分団第1部に配備
- 12月25日 ・ポンプ自動車(CD-I)1台を購入、第7分団第2部に配備
- 平成19年 1月17日 ・富津出張所のポンプ自動車(CD-II)を更新
- 3月16日 ・本署の高規格救急自動車を更新
- 4月 1日 ・15代消防長に綾部正吉氏就任
 - ・職員3名を採用
 - 10月16日 ・小型動力ポンプ1台を購入、第9分団第1部に配備

- 12月25日 ・小型動力ポンプ付積載車1台を購入、第12分団第1部に配備
- ・ポンプ自動車(CD-I)2台を購入、第2分団第1部、第10分団1部に配備
- 平成20年 4月 1日 ・16代消防長に松井朝市氏就任
- ・職員1名を採用

管内の面積及び人口・世帯数

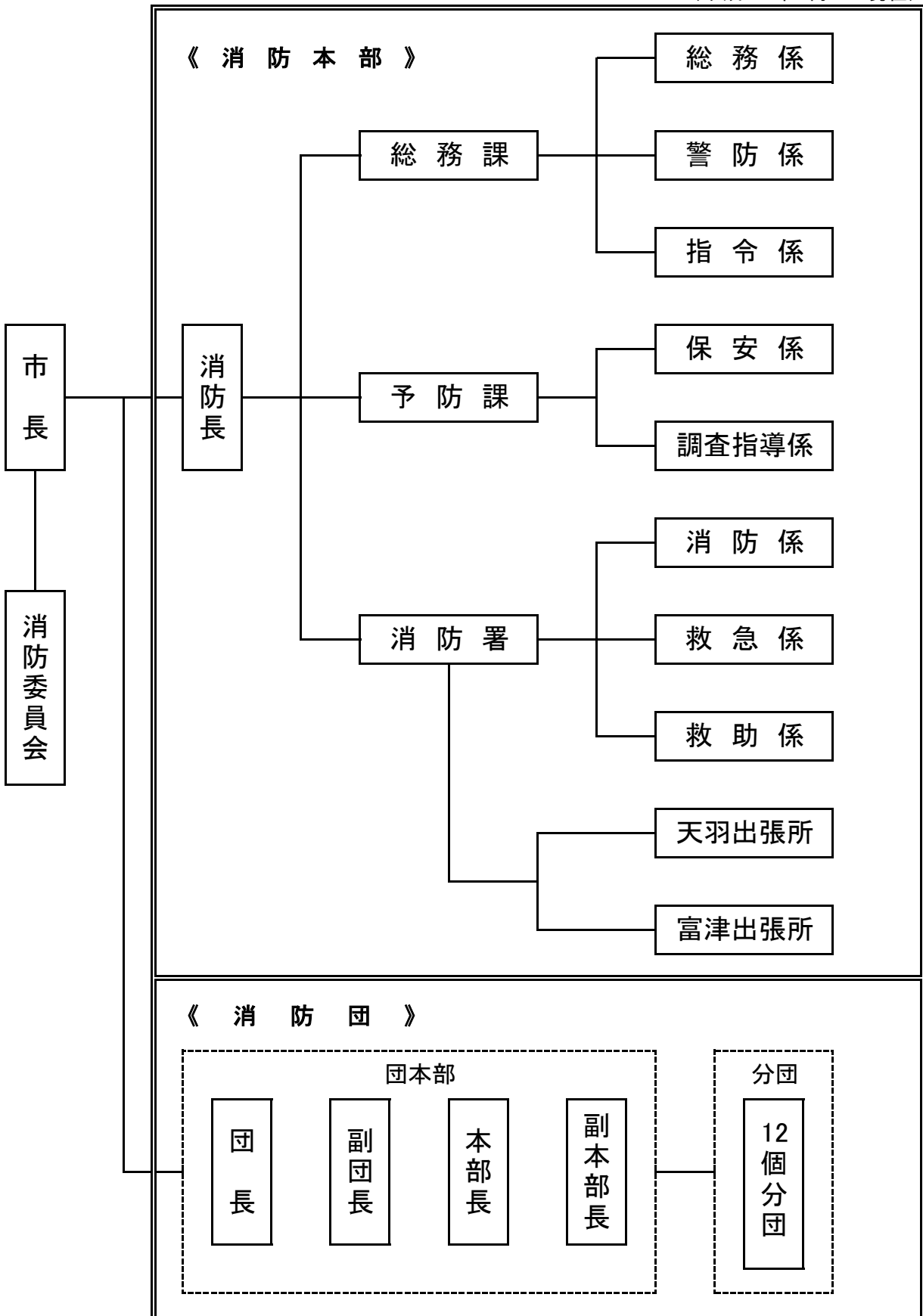
(平成20年4月1日現在)

面積	205.35km ²	東西 23.8 km 南北 24.4 km
人口	男 24,077人 女 24,639人 計 48,716人	237.23人/km ²
世帯数	16,900世帯	2.88人/世帯

組織・人事・消防施設及び車両等

消防の組織・機構

(平成20年4月1日現在)



消防本部・消防署の事務分掌

《消防本部》

(平成20年4月1日現在)

課 名	係 名	事 務 分 掌
総務課	総務係	1 消防施策の企画及び総合調整に関する事。 2 消防本部及び消防署の組織に関する事。 3 職員の人員及び給与に関する事。 4 職員の被服等の貸与に関する事。 5 文書の收受、配布及び審査に関する事。 6 公印に関する事。 7 情報公開に関する事。 8 個人情報保護に関する事。 9 儀式及び表彰(消防団を除く。)に関する事。 10 消防に係る予算の調整及び執行の管理に関する事。 11 消防用財産(他の所管に属するものを除く。)の管理に関する事。 12 消防委員会に関する事。 13 消防長会に関する事。 14 消防職員委員会に関する事。 15 課内の庶務に関する事。 16 他の所属に属さない事務の調整に関する事。
	警防係	1 消防の相互応援に関する事。 2 警戒及び防御の計画に関する事。 3 消防施設及び資機材の整備に関する事。 4 消防機器及び資材の管理保全に関する事。 5 開発行為に伴う消防水利の指導に関する事。 6 自主防災組織の育成指導に関する事。 7 消防協会に関する事。 8 消防団事務に関する事。
	指令第1係 指令第2係 指令第3係	1 通信機器の維持管理に関する事。 2 消防通信の訓練及び指導に関する事。 3 気象観測及び気象統計に関する事。 4 防災行政無線の放送に関する事。 5 富津市火災予防条例第45条の届出に関する事。 6 火災警報の発令に関する事。 7 職員の招集に関する事。 8 出動計画及び火災救急等の消防災害の出動指令に関する事。
予防課	保安係	1 危険物製造所等の許認可及び規制に関する事。 2 危険物製造所等の立入検査に関する事。 3 危険物取扱者及び保安監督者の育成指導に関する事。 4 危険物手数料に関する事。 5 液化石油ガス販売事業所の設置に伴う意見書に関する事。 6 圧縮アセチレンガス等の届出に関する事。 7 危険物安全協会に関する事。
	調査指導係	1 建築同意に関する事。 2 防火対象物等の立入検査に関する事。 3 防火基準適合表示及び違反公表に関する事。

		4 消防用設備等の設置指導に関すること。 5 消防設備士に関すること。 6 火災等の原因、損害の調査及び報告に関すること。 7 防火管理者及び防火関係団体の育成指導に関すること。 8 火災予防思想の普及及び広報に関すること。 9 火災等の統計に関すること。 10 消防の所管に係るり災証明書の発行に関すること。 11 課内の庶務に関すること。
--	--	--

《消防署》

課名	係名	事務分掌
本署	消防第1係 消防第2係 消防第3係	1 消防隊の訓練計画及び運用に関すること。 2 消防隊が使用する機器の管理に関すること。 3 消防水利の維持管理に関すること。 4 警戒及び警備に関すること。 5 防火対象物の立入検査に関すること。 6 火災予防の指導に関すること。 7 自衛消防の育成指導に関すること。 8 富津市火災予防条例第45条の届出の指導に関すること。 9 機関員の技能向上に関すること。 10 署の庶務に関すること。 11 他の係に属さない事項の調整に関すること。
	救急第1係 救急第2係 救急第3係	1 救急隊の運用及び管理に関すること。 2 救急資器材の管理に関すること。 3 救急技術の指導及び訓練に関すること。 4 医療機関等との連絡に関すること。 5 救急統計に関すること。
	救助第1係 救助第2係 救助第3係	1 救助隊の運用及び管理に関すること。 2 救助資器材の管理に関すること。 3 救助技術の指導及び訓練に関すること。 4 救助統計に関すること。
富津出張所 天羽出張所	消防第1係 消防第2係 消防第3係	1 出張所消防隊の運用に関すること。 2 消防隊が使用する機器の管理に関すること。 3 消防水利の維持管理に関すること。 4 警戒及び警備に関すること。 5 防火対象物の立入検査に関すること。 6 火災予防の指導に関すること。 7 自衛消防の育成指導に関すること。 8 富津市火災予防条例第45条の届出の指導に関すること。 9 機関員の技能向上に関すること。 10 出張所の庶務に関すること。
	救急第1係 救急第2係 救急第3係	1 出張所救急隊の運用に関すること。 2 救急資器材の管理に関すること。 3 救急技術の指導及び訓練に関すること。 4 医療機関等との連絡に関すること。

消防庁舎の現況

(平成20年4月1日現在)

名 称	所在地	構 造 延床面積(m ²)	建築年月日	備 考
消防本部 消防署(本署)	富津市小久保 2109番地	鉄筋コンクリート造 3階、一部平屋建1棟 訓練棟付(40m ²) 延床面積 1317.336 m ²	昭和49年6月30日	TEL 0439-65-0119 FAX 0439-65-1835
			平成8年3月28日	通信指令室 172.75m ² 増築
富津出張所	富津市西川 1567番地	鉄筋コンクリート造 平屋建1棟 延床面積 322.02m ²	昭和57年4月28日	TEL 0439-88-0119 FAX 0439-88-1258
天羽出張所	富津市湊 296番地2	鉄筋コンクリート造 平屋、一部2階建1棟 延床面積 323.55m ²	昭和58年3月25日	TEL 0439-67-0119 FAX 0439-67-1915

職員の年齢及び勤続年数

(平成20年4月1日現在)

階 級 年 齢 勤続年数	計	その 他の 職員	消 防 士	消 防 副 士 長	消 防 士 長	消 防 司 令 補	消 防 司 令	消 防 司 令 長	消 防 監
年 齢									
20 歳未満	7		7						
20～25 "	3		1	2					
25～30 "	4			4					
30～35 "	3			1	2				
35～40 "	6				6				
40～45 "	24	2			2	20			
45～50 "	22					22			
50 歳以上	42	1				10	19	11	1
計	111	3	8	7	10	52	19	11	1
平均年齢(歳)	44.2	45.7	22	26.4	36.8	45.6	53.2	55	58
勤続年数									
5年未満	13	3	8	2					
5～10 "	3			3					
10～15 "	2			2					
15～20 "	8				8				
20～25 "	17				2	15			
25～30 "	24					24			
30 年以上	44					13	19	11	1
計	111	3	8	7	10	52	19	11	1
平均勤続(年)	24.4	0.3	1.9	6.9	18.6	27.2	33.1	34.3	35.7

職 員 の 配 置 状 況

(平成20年4月1日現在)

階 級 区 分	その 他の 職員	消 防 士	消 防 副 士 長	消 防 士 長	消 防 司 令 補	消 防 司 令	消 防 司 令 長	消 防 監	計
消防本部	3		1		14	3	5	1	27
消防署(本署)		5	4	7	16	6	4		42
富津出張所		3		1	11	5	1		21
天羽出張所			2	2	11	5	1		21
派遣・出向			1		1		1		3
計	3	8	8	10	53	19	12	1	114

消 防 予 算 及 び 決 算

(過去5年間、単位 千円)

年 度	当 初 予 算	決 算 額
15年度	1,116,329	1,082,724
16年度	997,210	989,161
17年度	1,060,694	1,046,452
18年度	1,129,736	1,117,136
19年度	1,044,169	

消 防 相 互 応 援 協 定 等 の 状 況

協 定 名	協定年月日	協定締結消防機関名
千葉県広域消防相互応援協定	平成4年4月1日	県下市町村及び一部事務組合の消防機関

消 防 力 の 現 勢

(平成20年4月1日現在)

区 分		消 防 力
署所数	消 防 署	1
	出 張 所	2
	計	3
消防車数	ポ ン プ 車	5
	化 学 車	1
	救 急 車	4
	救 助 工 作 車	1
	計	11
消防職員数	ポ ン プ 要 員	56
	化 学 要 員	(15)
	救 助 要 員	(15)
	通 信 員	12
	救 急 隊 員	27
	予 防 要 員	5
	そ の 他 の 消 防 吏 員	8
	そ の 他 の 常 勤 職 員	3
	計	111

()内は兼任職員

消防車両等の配置状況

(平成20年4月1日現在)

所属	車両名等	シャーシ等	登録年月	種類	ポンプ形式	級別	経年 (年)
消防本部	消防長車	トヨタ	H 4. 6	乗用車			15
	連絡車	ニッサン	H 5. 4	乗用貨物			15
	広報車(1号車)	ニッサン	H 5. 8	乗用貨物			14
	広報車(2号車)	ニッサン	H18. 6	乗用貨物			1
	防火広報車	いすゞ	S62. 6	乗用貨物			20
本 署	指揮統制車	ホンダ	H16. 3	軽乗用車			4
	化学車(1号車)	いすゞ	H 1. 12	I 型化学車 (薬剤300ℓ)	野口2段 バランスタービン	A-2	18
	水槽付ポンプ車 (2号車)	いすゞ	H13. 12	I - A 1500ℓ	野口2段 バランスタービン	A-2	6
	防火水槽車 (水そう1)	いすゞ	H11. 12	5000ℓ	ラビット 1段タービン	B-2	8
	救助工作車	日野	H15. 11	II 型工作車			4
	救急車(3号車)	トヨタ	H10. 12	高規格			9
	救急車(4号車)	トヨタ	H19. 3	高規格			1
	広報車(3号車)	ホンダ	H13. 8	乗用軽貨物			6
	輸送車	ニッサン	H 3. 11	貨物	ラビット 1段タービン	B-3	16
	小型動力ポンプ	トーハツ	S52. 4	可搬式	トーハツ 1段タービン	B-3	31
富津出張所	ポンプ車(3号車)	いすゞ	H19. 1	CD - II	野口2段 バランスタービン	A-2	1
	ポンプ車(4号車)	いすゞ	H14. 1	CD - I	GM2段 バランスタービン	A-2	6
	救急車(2号車)	トヨタ	H11. 11	高規格			8
	小型動力ポンプ	ラビット	S53. 4	可搬式	ラビット 1段タービン	B-3	30
天羽出張所	ポンプ車(5号車)	いすゞ	H11. 12	CD - I	野口2段 バランスタービン	A-2	8
	小型動力ポンプ (5号積載)	ラビット	H11. 12	可搬式	ラビット 1段タービン	B-2	8
	水槽付ポンプ車 (6号車)	いすゞ	H11. 12	I - A 1500ℓ	野口2段 バランスタービン	A-2	8
	救急車(1号車)	トヨタ	H15. 2	高規格			5
	小型動力ポンプ	トーハツ	S54. 12	可搬式	トーハツ 1段タービン	B-3	28

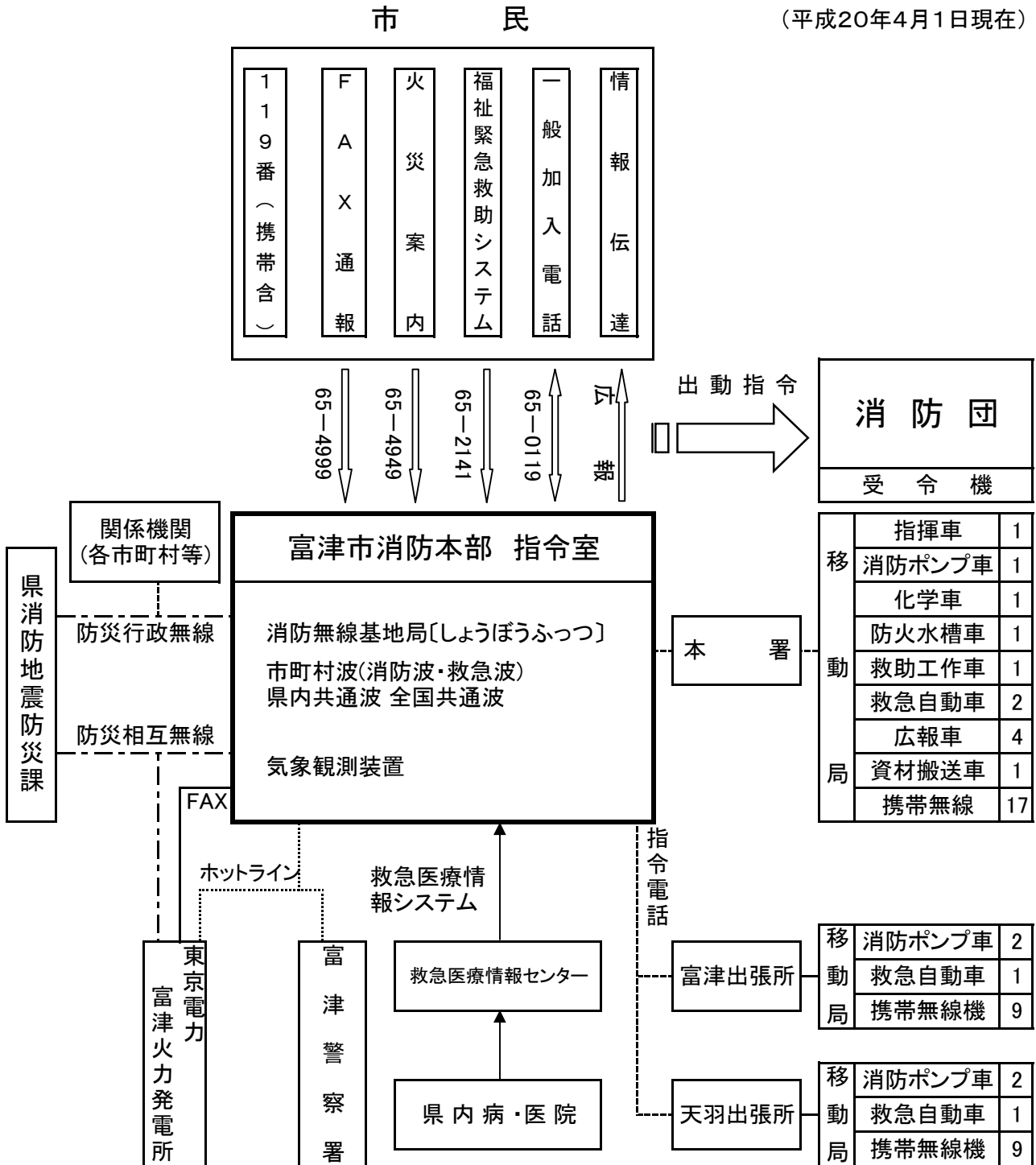
消 防 車 両 等 の 台 数

(平成20年4月1日現在)

車両名等	消防長車	指揮統制車	連絡車	広報車	水槽付ポンプ車	ポンプ車	化学車	防火水槽車	救急車	救助工作車	輸送車	小型動力ポンプ	計
台数	1	1	1	4	2	3	1	1	4	1	1	4	24

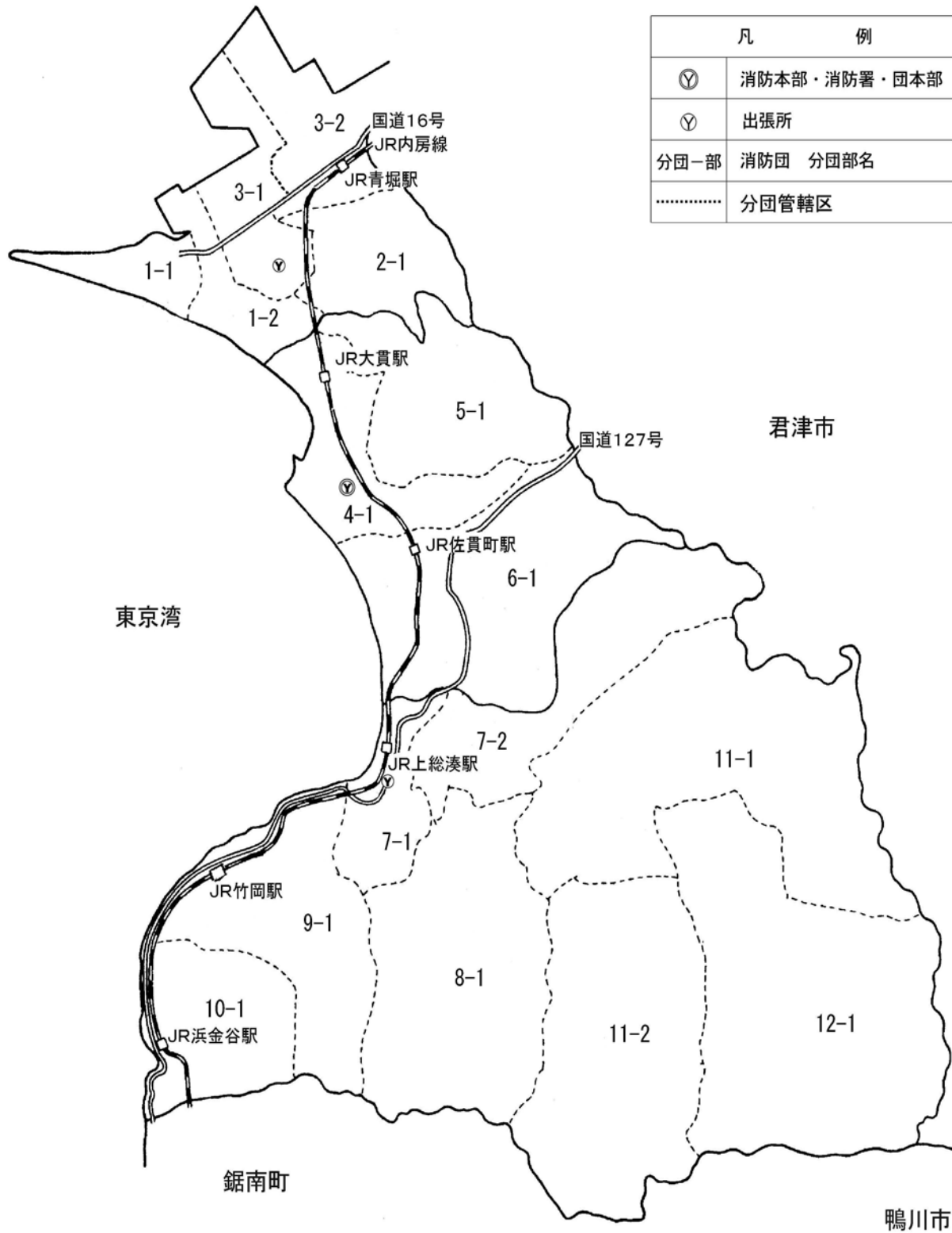
消防通信系統図

(平成20年4月1日現在)



消防分布図

(平成20年4月1日現在)



消防水利の状況

(平成20年4月1日現在)

種別		地区	富 津	大佐和	天 羽	計
消 火 栓	150mm以上		143	73	83	299
	125mm			16	15	31
	100mm		81	66	39	186
	100mm未満		118	92	87	297
	小 計		342	247	224	813
防 火 水 槽	40立方 メートル 以上	有 蓋	63	31	28	122
		無 蓋	40	19	69	128
	40立方 メートル 未満	有 蓋	8	12	5	25
		無 蓋	8	10	13	31
	小 計		119	72	115	306
プ ー ル			5	4	10	19
計			466	323	349	1,138

火災・救急・救助

火災発生状況

区分		年別の比較		平成19年	平成18年	増 減
発 生 件 数	建物火災			15	10	5
	林野火災			1		1
	車両火災			2		2
	船舶火災					
	その他火災			5	3	2
	計			23	13	10
損害額(千円)				35,141	6,169	28,972
焼 損 程 度	全焼			5	2	3
	半焼			1		1
	部分焼			3	4	▲ 1
	ぼや			6	4	2
焼 損 面 積	建物 (m ²)	床面積		1,250.9	154.1	1,096.8
		表面積		123.0	6.4	116.6
	林野(a)		10.28		10.28	
死 傷 者	死者				1	▲ 1
	負傷者			5		5
り災世帯数				11	10	1
り災人員				29	30	▲ 1

(平成19年中)

1日平均出火件数	0.06 件/日
1日平均建物焼失面積	3.43 m ² /日
建物火災1件当たりの焼失面積	83.39 m ² /件
火災1件当たりの損害額	1,527,870 円/件
市民1世帯当たりの損害額	1,919 円/世帯 ※
市民1人当たりの損害額	699 円/人 ※

※世帯数、人口は平成20年1月1日現在

覚 知 別 火 災 件 数

(平成19年中)

覚知種別		区分	計	火災種別				
				建物	林野	車両	船舶	その他
火災報知専用電話(119番)		一般加入	13	9	1	1		2
		携帯電話	6	5				1
加入電話			1	1				
警察電話			0					
その他			3			1		2
計			23	15	1	2	0	5

月 別 火 災 状 況

(平成19年中)

月別	区分	火災件数					死傷者		焼失面積		損害額 (千円)	
		計	建物	林野	車両	船舶	その他	死者	負傷者	建物 (m ²)		林野 (a)
1月		3	3						133.0		15,194	
2月		1	1						53.0		1,368	
3月		5	4	1				2	948.7	10.28	15,440	
4月		0										
5月		2	1			1			1.6		35	
6月		2				2						
7月		3	2		1			1	114.0		1,239	
8月		3			1	2		1			60	
9月		1	1						0.4			
10月		1	1						0.2		1,772	
11月		1	1									
12月		1	1					1			33	
計		23	15	1	2	0	5	0	5	1250.9	10.28	35,141

年別火災状況

(過去5年間)

年	区分	火災件数	損害額 (千円)	火災による	
				死者(人)	負傷者(人)
平成15年		21	51,814	3	2
平成16年		30	47,412	1	0
平成17年		33	48,495	4	6
平成18年		13	6,169	1	0
平成19年		23	35,141	0	5

時刻別火災発生状況

(平成19年中)

時刻	種別	火災種別					計
		建物	林野	車両	船舶	その他	
0~1		2					2
1~2							0
2~3		1					1
3~4							0
4~5				1			1
5~6							0
6~7		1					1
7~8							0
8~9		1				1	2
9~10							0
10~11		1					1
11~12			1			1	2
12~13						1	1
13~14		2					2
14~15		3				2	5
15~16		1					1
16~17							0
17~18							0
18~19		2					2
19~20				1			1
20~21							0
21~22		1					1
22~23							0
23~24							0
計		15	1	2	0	5	23

地区別火災発生状況

(平成19年中)

種別	地区	富津	大佐和	天羽	計
建物		7	2	6	15
林野				1	1
車両				2	2
船舶					0
その他		2	2	1	5
計		9	4	10	23

火災原因別件数

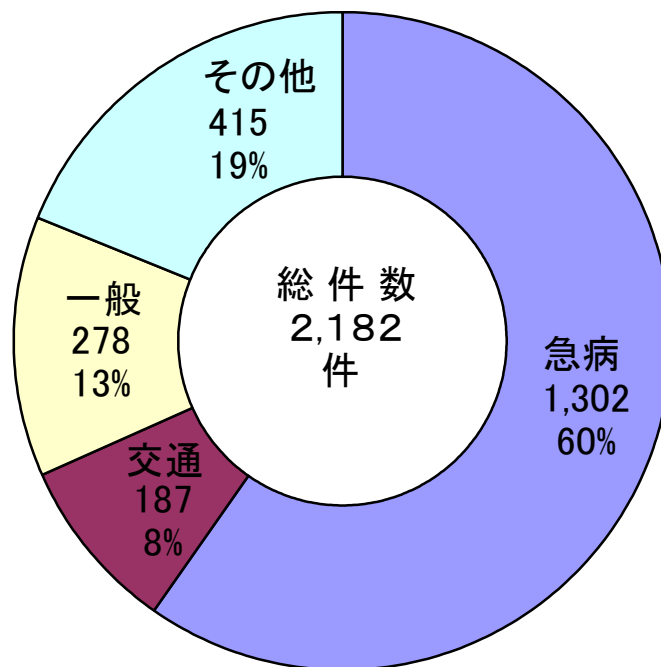
(平成19年中)

不明	8
タバコ	2
焼却中の延焼拡大	2
焼却中の飛び火	1
枯草焼却後の再燃	1
取灰の再燃	1
落雷	1
放火・放火の疑い	1
電気コンロ	1
ガステーブル	1
カセットコンロ	1
風呂釜	1
塗料の自然発火	1
ライター	1
計	23

事故種別救急出動件数

(平成19年中)

種別 月	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計 (件)
1月	2			7	1	2	20		1	149	20	202
2月	1		1	16	3	2	14		2	91	26	156
3月	5			15	2	1	25		5	115	26	194
4月	1			15		1	24	1	5	87	30	164
5月	2			23		1	18	1	4	114	25	188
6月				8	3	2	23	2	1	91	18	148
7月	2		3	20	7	4	21		1	117	22	197
8月	1		1	21	5	4	33	1	7	109	28	210
9月				14	2	4	31	4	6	105	24	190
10月				14	2		27	3	4	94	19	163
11月	1			14	3	4	18	1	1	95	31	168
12月	1			20	3	2	24		1	135	16	202
計	16	0	5	187	31	27	278	13	38	1,302	285	2,182



(注) グラフ中の「その他」とは、急病・交通事故・一般負傷以外全てを含む。

救急隊別出動件数

(平成19年中)

種別 区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計 (件)	比 率 (%)
本署救急隊	15			75	5	13	68	3	12	435	137	763	35.0
富津救急隊			3	51	18	13	110	6	15	477	102	795	36.4
天羽救急隊	1		2	61	8	1	100	4	11	390	46	624	28.6
計	16	0	5	187	31	27	278	13	38	1,302	285	2,182	100.0

傷病程度別搬送人員

(平成19年中)

種別 区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計 (人)	比 率 (%)
死亡			1	9	1		3		6	52		72	3.4
重症				8	4		31		2	109	54	208	9.9
中等症	2		2	35	13	5	69	2	11	565	203	907	43.3
軽症	4		1	151	13	24	168	12	4	512	20	909	43.3
その他				1								1	0.1
計	6	0	4	204	31	29	271	14	23	1,238	277	2,097	100.0

(注)区分の「その他」とは、その他の場所に收容し医師の診断を受けていないため区分の判断がつかないもの。

年齢区分別搬送人員

(平成19年中)

種別 区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計 (人)
新生児 (生後28日以内)											3	3
乳幼児 (29日～7歳未満)			2	6			22			37	2	69
少年 (7歳～18歳未満)				24		20	14			35	8	101
成人 (18歳～65歳未満)	3		2	130	24	9	96	14	14	438	95	825
老人 (65歳以上)	3			44	7		139		9	728	169	1,099
計	6	0	4	204	31	29	271	14	23	1,238	277	2,097

搬送人員の居住地別

(平成19年中)

種別 区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計 (人)
市内に住所を有する者	6		3	128	21	8	207	10	20	1,125	208	1,736
市外に住所を有する者			1	76	10	21	63	4	3	113	68	359
その他							1				1	2
計	6	0	4	204	31	29	271	14	23	1,238	277	2,097

(注)区分の「その他」とは、住所が判明しない者

救急隊員の行った応急処置件数

(平成19年中)

種別 区分	急病	交通	一般負傷	その他	計 (人)
止血	3	6	13	3	25
固定	1	87	45	24	157
人工呼吸	10			1	11
心マッサージ					0
心肺蘇生	53	9	6	9	77
酸素吸入	481	28	32	134	675
気道確保	35	2	4	3	44
保温	983	97	151	270	1,501
被覆	5	46	77	30	158
在宅療法継続					0
除細動	2			2	4
静脈路確保	17	3	4	5	29
薬剤投与	1	1	1	1	4
その他応急処置	318	28	58	92	496
血圧測定	1,131	181	227	358	1,897
聴診器	463	79	49	105	696
血中酸素飽和度測定	1,214	197	257	374	2,042
心電図	671	41	51	148	911
気道確保(LM等による)	35	7	4	7	53
気管挿管	1		3		4
計	5,424	812	982	1,566	8,784
応急処置対象人員	1,238	204	271	384	2,097

年別救急隊出動件数

(過去5年間)

種別 年	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計 (件)
15年	11		8	260	14	4	266	10	40	1,248	229	2,090
16年	18	1	4	290	24	10	254	21	49	1,351	249	2,271
17年	18		7	272	15	16	271	12	40	1,331	226	2,208
18年	3		8	222	15	17	241	9	26	1,295	297	2,133
19年	16		5	187	31	27	278	13	38	1,302	285	2,182

特別救助隊編成表

(平成20年4月1日現在)

消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
0人	6人	3人	3人	3人	15人

救助隊員の免許取得状況

(平成20年4月1日現在)

クレーン取扱	玉掛	潜水士	ガス溶接	アーク溶接	2級小型船舶
14人	14人	14人	13人	1人	1人

救助器具の保有状況

(平成20年4月1日現在)

種別	器具名	数量	種別	器具名	数量
一般救助用器具	かぎ付きはしご	1	器具呼吸保護用	空気呼吸器	11
	三連はしご	1		防塵マスク	10
	金属製折りたたみはしご	1		送排風機	1
	空気式救助マット	2		簡易呼吸器	2
	救命索発射銃	2	隊員保護器具	耐電手袋	5
	救助用縛帯	5		耐電衣	3
	平担架	1		耐電ズボン	2
	バスケット型担架	2		耐電長靴	3
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	2	隊員保護器具	携帯警報機	5
	油圧スプレッダー	2		耐熱服	4
	可搬ウィンチ	3		陽圧式化学防護服	7
	マット型空気ジャッキ	1	水難救助用器具	潜水器具	5
	救助用支柱器具	1		救命胴衣	12
	マンホール救助器具	1		水中スクーター	1
切断用器具	大型油圧スプレッダー	2	水難救助用器具	救命浮環	10
	エンジンカッター	1		浮標	1
	ガス溶断機	1		水中無線機	1
	チェーンソー	1	その他の救助用器具	水中テレビカメラ	1
	鉄線カッター	2		救命ボート	1
	空気切断機	1		簡易画像探索機	1
具破壊用器	大型油圧切断機	2	その他の救助用器具	熱画像探索機	1
	万能斧	2		投光器	5
	携帯用コンクリート破壊器具	1		携帯拡声器	2
具測定用器	ハンマードリル	1	その他の救助用器具	応急処置用セット	1
	可燃性ガス測定器	1		双眼鏡	1
	有毒ガス測定器	1		発電機	1
	放射線測定器	1			

月別救助出動件数

(平成19年中)

種別	月												計 (件)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災	1	1	3		1		1				1	1	9
交通			1		1			2		1	1	1	7
水難							1						1
機械による事故													0
その他	1	1	1				1						4
計	2	2	5	0	2	0	3	2	0	1	2	2	21

年別救助出動件数

(過去3年間)

種別	年 区分	H17			H18			H19		
		出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員
火災		2	2	2	4	1	1	9	1	1
交通		27	18	21	15	9	9	7	4	5
水難		5	3	3	7	5	6	1	1	1
機械による事故					2					
その他		5	3	3	6	3	2	4	3	3
計		39	26	29	34	18	18	21	9	10

予 防 ・ 査 察

建築同意状況（月別）

（平成19年度中）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	8	8	10	1	2	0	2	4	3	6	1	7	52

建築同意状況（用途別）

（平成19年度中）

用途		区分	同意件数		
			新築	増築	計
1	イ	劇場・映画館等			0
	ロ	公会堂・集会場			0
2	イ	キャバレー・カフェー等			0
	ロ	遊技場・ダンスホール	1		1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗			0
3	イ	待合・料理店等			0
	ロ	飲食店	2		2
4		百貨店・マーケット等	1		1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所			0
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6		6
6	イ	病院・診療所・助産所	1		1
	ロ	老人福祉施設等			0
	ハ	幼稚園・盲学校等			0
7		小学校・中学校等			0
8		図書館・博物館等			0
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場等			0
	ロ	その他の公衆浴場			0
10		車両の停車場等			0
11		神社・寺院・教会等			0
12	イ	工場・作業場	8		8
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			0
13	イ	自動車車庫・駐車場			0
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			0
14		倉庫	1	4	5
15		前各項に該当しないもの	1		1
16	イ	特定複合用途防火対象物		1	1
	ロ	その他複合用途防火対象物		1	1
17		重要文化財			0
18		延長 \geq 50mのアーケード			0
一般住宅			1		1
その他			16	8	24
計			38	14	52

防火対象物状況

(平成20年4月1日現在)

用途		地区	富津	大佐和	天羽	計
1	イ	劇場・映画館等	4	1	1	6
	ロ	公会堂・集会場	15	10	12	37
2	イ	キャバレー・カフェー等				0
	ロ	遊技場・ダンスホール	4	2	1	7
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗				0
3	イ	待合・料理店等				0
	ロ	飲食店	15	5	13	33
4		百貨店・マーケット等	21	13	16	50
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	18	23	18	59
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	132	26	8	166
6	イ	病院・診療所・助産所	9	10	6	25
	ロ	老人福祉施設等	19	11	16	46
	ハ	幼稚園・盲学校等	1	1	1	3
7		小学校・中学校等	8	19	26	53
8		図書館・博物館等	2		1	3
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場等			1	1
	ロ	その他の公衆浴場				0
10		車両の停車場等			1	1
11		神社・寺院・教会等	3		2	5
12	イ	工場・作業場	92	63	32	187
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ				0
13	イ	自動車車庫・駐車場	2	4	2	8
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				0
14		倉庫	48	20	22	90
15		前各項に該当しないもの	106	24	35	165
16	イ	特定複合用途防火対象物	20	19	18	57
	ロ	その他複合用途防火対象物	7	4	6	17
17		重要文化財				0
18		延長 \geq 50mのアーケード				0
計			526	255	238	1,019

※ 防火対象物数は棟数表示となっています。

中高層防火対象物状況

(平成20年4月1日現在)

用途		地区	富津				大佐和				天羽				計
			3階	4階	5階	6階以上	3階	4階	5階	6階以上	3階	4階	5階	6階以上	
1	イ	劇場・映画館等													0
	ロ	公会堂・集会場	1												1
2	イ	キャバレー・カフェー等													0
	ロ	遊技場・ダンスホール													0
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗													0
3	イ	待合・料理店等													0
	ロ	飲食店					1								1
4		百貨店・マーケット等	1				1								2
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	3	1			1	1			5				11
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	9	3	7	1	2	12	1		1				36
6	イ	病院・診療所・助産所	1	1							1				3
	ロ	老人福祉施設等	1	2				1		1	1				6
	ハ	幼稚園・盲学校等													0
7		小学校・中学校等	2	2			6	1			5				16
8		図書館・博物館等													0
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場等									1				1
	ロ	その他の公衆浴場													0
10		車両の停車場等													0
11		神社・寺院・教会等													0
12	イ	工場・作業場	3	2			2								7
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ													0
13	イ	自動車車庫・駐車場													0
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫													0
14		倉庫													0
15		前各項に該当しないもの	14	4		2	3				8				31
16	イ	特定複合用途防火対象物	3	1			3				4	1		1	13
	ロ	その他複合用途防火対象物	2	1			2				1				6
計			40	17	7	3	21	15	1	1	27	1	0	1	134

防火対象物の立入検査状況

(平成19年度中)

用途		地区	富津	大佐和	天羽	計
1	イ	劇場・映画館等	1	2	1	4
	ロ	公会堂・集会場	4	3	2	9
2	イ	キャバレー・カフェー等				0
	ロ	遊技場・ダンスホール	1			1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗				0
3	イ	待合・料理店等				0
	ロ	飲食店	2	1		3
4		百貨店・マーケット等	3	1	4	8
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	9	10	9	28
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1	1		2
6	イ	病院・診療所・助産所	1	2		3
	ロ	老人福祉施設等	4	6		10
	ハ	幼稚園・盲学校等				0
7		小学校・中学校等	4	5	9	18
8		図書館・博物館等	1			1
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場等				0
	ロ	その他の公衆浴場				0
10		車両の停車場等				0
11		神社・寺院・教会等				0
12	イ	工場・作業場		2	1	3
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ				0
13	イ	自動車車庫・駐車場				0
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				0
14		倉庫				0
15		前各項に該当しないもの		2	2	4
16	イ	特定複合用途防火対象物		3	1	4
	ロ	その他複合用途防火対象物			1	1
計			31	38	30	99

甲種防火管理者資格付与の状況 防火管理者選任・解任届出状況

(過去5年間)

年数	男	女	計
S63年～H12年	697	118	815
平成16年	36	18	54
平成17年	38	7	45
平成18年	42	18	60
平成19年	0	0	0
計	813	161	974

年度	選任	解任	計
平成15年度	46	33	79
平成16年度	71	50	121
平成17年度	50	38	88
平成18年度	73	53	126
平成19年度	48	40	88

(注) 平成16年まで甲種防火管理者講習会は隔年実施
平成19年から日本防火協会主催にて君津市と合同開催

消防用設備等新規設置状況

(平成19年度中)

区分	種別	件数
消火設備	消火器	33
	屋内消火栓	3
	スプリンクラー設備	5
	粉末消火設備	
	屋外消火栓	1
警報設備	自動火災報知設備	49
	ガス漏れ火災警報設備	
	非常警報設備	2
	非常放送設備	2
	漏電火災警報器	
	消防機関へ通報する火災報知設備	2
避難設備	避難器具	4
	誘導灯・誘導標識	24
計		125

火災予防条例に基づく届出状況

(平成19年度中)

種 別	防火対象物使用開始届	炉・ボイラー等	変電発電蓄電池設備	火災類似行為	煙火打ち上げ・仕掛け	催物の開催	水道断減水	道路工事	少量危険物貯蔵取扱等	計
件数	33	8	22	105	41	1	27	49	23	309

危険物製造所等完成検査済証交付件数

(平成19年度中)

区分 許可別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				計	
		屋内貯蔵所	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所		小計
設置		1	2						3			1	1	4
変更					1	1	2		4			4	4	8

数量別危険物製造所等

(平成20年4月1日現在)

区分 許可別	製造所	貯蔵所							取扱所			計
		屋内貯蔵所	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
5倍以下		8	16	2	20	2	50		9		24	131
5倍を超え 10倍以下		6	18		9		1	1	6		16	57
10倍を超え 50倍以下		4	11	2	10		7		9		13	56
50倍を超え 100倍以下		1			7				7			15
100倍を超え 150倍以下					1				12			13
150倍を超え 200倍以下					1				10		1	12
200倍を超え 1000倍以下			2		1				1		1	5
計	0	19	47	4	49	2	58	1	54	0	55	289

類別危険物製造所等

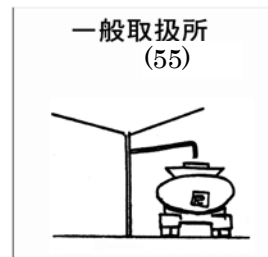
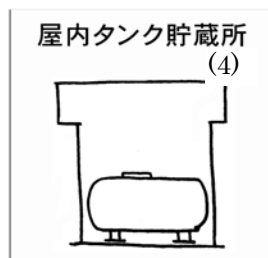
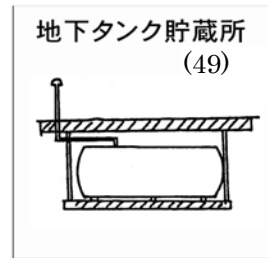
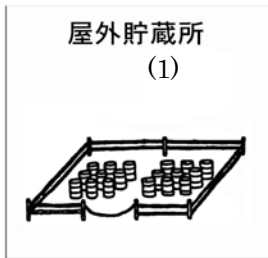
(平成20年4月1日現在)

区分 許可別	製造所	貯蔵所							取扱所				計
		屋内貯蔵所	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵所	給油		販売取扱所	一般取扱所	
									営業用	自家用			
単独	第1類	1											1
	第2類												0
	第3類												0
	第4類	15	47	4	49	2	58	1	38	16		55	285
	第5類												0
	第6類												0
混在		3											3
計	0	19	47	4	49	2	58	1	38	16	0	55	289

危険物製造所等の分布状況

(平成20年4月1日現在)

区分 地区	製造所	貯蔵所							取扱所				計	
		屋内貯蔵所	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所		小計
富津		15	31	4	21		36		107	19		27	46	153
大佐和		2	6		8		8	1	25	14		13	27	52
天羽		2	10		20	2	14		48	21		15	36	84
計	0	19	47	4	49	2	58	1	180	54	0	55	109	289



消 防 ク ラ ブ の 現 況

幼 年 消 防 ク ラ ブ

18年度		19年度		増 減
クラブ数	クラブ員数 (A)	クラブ数	クラブ員数 (B)	クラブ員数 (B)-(A)
14	1,251	14	1,275	24

活 動 状 況

(平成19年度中)

事 業 名	実施月	実施場所	事 業 名	実施月	実施場所
防災訓練	9	ふれあい公園	春の火災予防運動	3	市内全域
秋の火災予防運動	11	市内全域	消防訓練	随時	各施設
出初式	1	富津公民館	消防署見学	随時	消防本部

消 防 団

消 防 団 員 数 及 び 配 置 状 況

(平成20年4月1日現在)

階級 区分	団 長	副団長			分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
		副 団 長	本 部 長	副 本 部 長						
団本部	1	3	1	8						13
第 1分団					1	2	2	14	54	73
第 2分団					1	1	1	8	31	42
第 3分団					1	1	2	8	34	46
第 4分団					1	1	1	9	32	44
第 5分団					1	1	1	7	27	37
第 6分団					1	1	1	8	27	38
第 7分団					1	1	2	12	41	57
第 8分団					1	1	1	6	23	32
第 9分団					1	1	1	8	31	42
第10分団					1	1	1	6	23	32
第11分団					1	1	2	10	37	51
第12分団					1	1	1	6	23	32
計	1	3	1	8	12	13	16	102	383	539

階 級 別 年 齢 構 成 状 況

(平成20年4月1日現在)

階級 年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
20歳未満								0
20～25 //							45	45
25～30 //						8	156	164
30～35 //			3	5	12	65	137	222
35～40 //		5	8	7	3	27	40	90
40～45 //		5	1	1	1	2	5	15
45～50 //		1						1
50～55 //	1	1						2
計	1	12	12	13	16	102	383	539

消 防 団 員 職 業 別 状 況

(平成20年4月1日現在)

職 種	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気 ガ ス 業	運 輸 通 信 業	卸 売 小 売 業	金 融 保 険 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	国 家 公 務 員	地 方 公 務 員	そ の 他	計
団員数	17	1	34	9	94	108	43	29	36	14	1	112	10	15	16	539

区 分	被 用 者	自 営 業 者		家 族 従 業 者	そ の 他			計
		被 用 者 の 有 る 業 主	被 用 者 の 無 い 業 主		役 員	家 庭 内 職 者	そ の 他	
団員数	412	4	19	86	5	2	11	539

消 防 団 車 両 等 の 配 置 状 況

(平成20年4月1日現在)

分団名	部名	配置場所	車両名	登録年月	種別	ポンプ形式	級別	経年 (年)
第1分団	第1部	富津2610	1号車	H 2. 2	ポンプ車	GMいちほら 3段タービン	A-2	18
			2号車	H15. 12	小型動力ポンプ 付積載車	ラビット 1段タービン	B-2	4
	第2部	川名759-1		H11. 12	小型動力ポンプ 付積載車	ラビット 1段タービン	B-2	8
第2分団	第1部	下飯野1342-5	1号車	H19. 12	ポンプ車	GMいちほら 2段タービン	A-2	0
			2号車	H13. 11	小型動力ポンプ 付積載車	ラビット 1段タービン	B-2	6
第3分団	第1部	青木1221-1		H11. 12	小型動力ポンプ 付積載車	ラビット 1段タービン	B-2	8
	第2部	大堀1-18-1		H 2. 12	ポンプ車	GMいちほら 3段タービン	A-2	17
第4分団	第1部	岩瀬995-1	1号車	H 6. 2	ポンプ車	GMいちほら 2段タービン	A-2	14
				H16. 5	小型動力ポンプ	トーハツ 1段タービン	B-2	4
		千種新田130	2号車	H 1. 2	ポンプ車	GMいちほら 3段タービン	A-2	19
第5分団	第1部	西大和田217-2		H 3. 11	ポンプ車	GMいちほら 3段タービン	A-2	16
				H 6. 1	小型動力ポンプ	ラビット 1段タービン	B-3	14
第6分団	第1部	佐貫83	1号車	H 2. 12	ポンプ車	GMいちほら 3段タービン	A-2	17
				S62. 3	小型動力ポンプ	シバウラ 1段タービン	B-2	21
		八幡146	2号車	H13. 11	小型動力ポンプ 付積載車	ラビット 1段タービン	B-2	6
第7分団	第1部	湊145-9		H11. 12	小型動力ポンプ 付積載車	ラビット 1段タービン	B-2	8
	第2部	更和161		H18. 12	ポンプ車	GMいちほら 2段タービン	A-2	1
				H17. 12	小型動力ポンプ	トーハツ 1段タービン	B-2	2
第8分団	第1部	不入斗1697-2	1号車	H13. 11	小型動力ポンプ 付積載車	ラビット 1段タービン	B-2	6
		相川1497-3	2号車	H18. 2	小型動力ポンプ 付積載車	シバウラ 1段タービン	B-2	2

第9分団	第1部	竹岡403-1	1号車	H 1. 12	ポンプ車	GMいちほら 3段タービン	A-2	18
				H19. 10	小型動力ポンプ	トーハツ 1段タービン	B-2	0
		萩生576	2号車	H15. 12	小型動力ポンプ 付積載車	ラビット 1段タービン	B-2	4
第10分団	第1部	金谷2175-10	1号車	H15. 12	小型動力ポンプ 付積載車	ラビット 1段タービン	B-2	4
				H19. 12	ポンプ車	GMいちほら 2段タービン	A-2	0
		金谷3970-2		H18. 10	小型動力ポンプ	トーハツ 1段タービン	B-2	1
第11分団	第1部	関尻393-2	1号車	H 7. 1	ポンプ車	GMいちほら 3段タービン	A-2	13
				H11. 12	小型動力ポンプ 付積載車	ラビット 1段タービン	B-2	8
		六野448-2		S62. 12	小型動力ポンプ	シバウラ 1段タービン	B-2	20
	第2部	志駒531-1		H 7. 11	小型動力ポンプ 付積載車	ラビット 1段タービン	B-2	12
		山中697-1		H 1. 3	小型動力ポンプ	シバウラ 1段タービン	B-3	19
第12分団	第1部	関274	1号車	H19. 12	小型動力ポンプ 付積載車	ラビット 1段タービン	B-2	0
	第2部	豊岡1355-1	2号車	H13. 11	小型動力ポンプ 付積載車	シバウラ 1段タービン	B-2	6
				S62. 12	小型動力ポンプ	シバウラ 1段タービン	B-2	20

消防団車両等の台数

車両名等	台数
ポンプ車	11
小型動力ポンプ付積載車	14
小型動力ポンプ	9
計	34

消防年報 平成19年版

発行 平成20年5月

編集 富津市消防本部

住所 〒293-0042 千葉県富津市小久保2109番地

電話 0439-65-0119(代) FAX 0439-65-1835